

輝いて過去の消えゆく流れ星

流星や奇跡はある日突然に

空に生れ空に消え行く流れ星

時針より長き分針流れ星

流星や全てを忘れ幸せに

秋晴の夜は夜とて流れ星

流星の過去から未来へと消ゆる

晴れ渡る夜を喜び流れ星

流星や名も無きままに輝きて

衛星の過る夜空の流れ星

命終に一つは欲しき流れ星

流星や一寸先の闇に消ゆ

一瞬を流れて永遠に消ゆる星

流星は命の如し死の如し

流星や軽く闇夜を刺すやうに

いにしへの奈良の都の流れ星

老人や流星群の中に座し

流れ星火を取る虫の既になし

流れ星釈迦の救ひの糸もあれ

流星は噓の如く儂けれ

流星や生れたるものは水にぬれ

苦学とは時に居眠り流れ星

流星や修行の僧の大噓

水だけを運ぶ水道流れ星

夜なべする人の居眠り流れ星

星座にはなれぬ嘆きの流れ星

湯あがりの赤子ひやすな流れ星

流星や泣き疲れたる子が寝落つ

九回の裏へと流れ星あまた

雨垂れのごと一滴の流れ星

流星や夢の中なる夢を見て

流れ星延長戦となりにけり

流れ星天の火垂ると申すべく

流星の豊かなる夜のコンサート

壇2023 流星を迎へ撃つべく富士の山

海賊の地図にバツテン流れ星

流星の静かに眠る湖の底

まだ文字を知らぬペン先流れ星

菜箸の長き直線流れ星

流星の沈みて眠る湖の底

流星に長き手紙となりにつけり

一の糸そして二の糸流れ星

大気圏貫き果てし流れ星

待つ人の処に消ゆる流れ星

流星や柱の中に錆びし釘

地を知らぬままに消えたる流れ星

天よりの使者か秘かに流れ星

星は点流星は線光りけり

流星の夜ごとに刺さる地球かな

子が眠り母が眠りて流れ星

流れ星ただ一筋といふことを

この山が例の古地図の流星の

流星や二段ベッドに姉妹

天球の密かな亀裂流れ星

流星を弾き飛ばせし石畳

こんなにも星降る夜の陰陽師

億万の星の一つを流れ星

音もなく時は流れて流れ星

流星の怖ろしき夜や誰か来て

屋上は地上に遠し流れ星

歪みたる時空の軋み流れ星

頬杖のふと外れたる流れ星

細長きビルの屋上流れ星

口笛や流星を夜に突き刺して

流星に選ばれし子の蒙古斑

逃れしか追ひ出されしか流れ星

言葉から零るるは何ながれ星

流星や男子の尻の蒙古斑

灯を消して電車は車庫へ流れ星

流星や書かねばならぬことばかり

栄光の長き尾を引く流れ星

流星の導く夜行列車かな

2023・10・14【全然堂歳時記秋

【流れ星】

選76句

組14ポ

BIZ 明朝

2023年10月14日

12:38

3  
桐10

飛行機と流星ほどの間柄

流星に潮吹き上ぐる鯨かな

流星が砕く桔梗の蒼かな

流星と運動場に生えし草

流星に力を弾き飛ばして石畳

海賊の地図にバツテン流れ星

九回の裏へと流れ星あまた

一瞬を流れて永遠に消ゆる星

流れ星火を取る虫の既になし

歪みたる時空の軋み流れ星

億万の星の一つを流れ星

流星や奇跡はある日突然に

頬杖のふと外れたる流れ星

流星の夜ごとに刺さる地球かな

空に生れ空に消え行く流れ星

命終に一つは欲しき流れ星

地を知らぬままに消えたる流れ星

老人や流星群の中に座し

流星や名も無きままに輝きて

流星と運動場に生えし草

星は点流星は線光りけり

栄光の長き尾を引く流れ星

流星や一寸先の闇に消ゆ

こんなにも星降る夜の陰陽師

流星に長き手紙となりにけり

流星に潮吹き上ぐる鯨かな

灯を消して電車は車庫へ流れ星

流星の豊かなる夜のコンサート

まだ文字を知らぬペン先流れ星

流星の怖ろしき夜や誰か来て

星座にはなれぬ嘆きの流れ星

晴れ渡る夜を喜び流れ星

雨垂れのごと一滴の流れ星

流れ星天の火垂ると申すべく

菜箸の長き直線流れ星

2023・10・27【全然堂歳時記秋】  
【流れ星2】 選22句

17行3段組14ポ  
2023年10月27日 07:06  
↑ ↓ 桐10

一滴の星の滴り流れ星 流星や奇跡はある日突然に

一本の星の滴り流れ星 流星と運動場に生えし草

満天の星が見送る流れ星 流星に潮吹き上ぐる鯨かな

満天の星の歓声流れ星 菜箸の長き直線流れ星

星は点流星は線光りけり 流星の豊かなる夜のコンサート

星座にはなれぬ嘆きの流れ星 九回の裏へと流れ星あまた

栄光の長き尾を引く流れ星 こんなにも星降る夜の陰陽師

流星や名も無きままに輝きて 流星の怖ろしき夜や誰か来て

流星や一寸先の闇に消ゆ 老人や流星群の中に座し

一瞬を流れて永遠に消ゆる星 命終に一つは欲しき流れ星

まだ文字を知らぬペン先流れ星

頬杖のふと外れたる流れ星